

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月13日

上場会社名 健康ホールディングス株式会社
 コード番号 2928 URL <http://www.kenkou-hd.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

(氏名) 瀬戸 健
 (氏名) 香西 哲雄
 配当支払開始予定日

上場取引所 札
 TEL 03-5337-1337
 平成21年12月7日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	4,093	3.3	491	104.9	468	115.1	309	153.0
21年3月期第2四半期	3,963	—	239	—	217	—	122	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	1,010.98	1,010.39
21年3月期第2四半期	407.67	401.05

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	5,771	719	12.5	2,348.37
21年3月期	5,865	423	7.2	1,383.64

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 719百万円 21年3月期 423百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	50.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	47.26 ～71.57	97.26 ～121.57

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有
 配当金の内訳 記念配当 50円00銭

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,002	14.4	702	94.9	670	112.6	360	152.1	1,175.32

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 306,400株 21年3月期 305,800株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 一株 21年3月期 一株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 306,199株 21年3月期第2四半期 300,100株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成21年9月28日に公表いたしました平成22年3月期の業績予想につきましては、本資料において修正しております。その詳細につきましては、平成21年11月13日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想値と異なる場合があります。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(1)業績

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年来の世界的な金融危機・経済危機による景気後退から一定期間が経過し、徐々に経済は持ち直してきているものの、企業収益や雇用・所得環境については、一部を除き未だ厳しい中で推移しております。

このような環境の中において、当社グループの主力事業である美容・健康関連事業での景気悪化の余波は比較的少なく、特に美容関連分野においては、女性用美容家電等を中心に、堅調に推移しております。

こうした経営環境のもと、当社グループは、「美容・健康関連事業」と「食品関連事業」を主力事業に据え、この主力事業を支えるグループ各社が、事業強化に向けた販路拡大、新商品開発、相乗効果追求等に注力してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高4,093百万円（前年同四半期連結累計期間は3,963百万円）、営業利益491百万円（前年同四半期連結累計期間は239百万円）、経常利益468百万円（前年同四半期連結累計期間は217百万円）、四半期純利益は309百万円（前年同四半期連結累計期間は122百万円）となりました。

(2)セグメント情報

①美容・健康関連事業

美容・健康関連事業は、大きく分けて「健康食品分野」と「美容関連分野」になります。

健康食品分野は、健康コーポレーション株式会社を中心に、事業を行っております。この分野においては、健康志向の高まりや、肥満・生活習慣病等の増加を背景に、近年市場が拡大しております。

健康コーポレーション株式会社では「カロリーコントロール用健康食品」の販売を中心に事業活動を行っておりますが、平成19年第1四半期以降続いていた売上高の落ち込みが歯止めがかかったこと、効率の良い広告媒体に絞り込みができたことで、安定的な利益を確保できるようになっております。

美容関連分野は、株式会社ジャパンギャルズと健康コーポレーション株式会社を中心に、事業を行っております。この分野においては、美容・健康に対する消費者意識の高まりや、ホームエステに対するニーズの高まりにより、確実に市場は拡大しております。

株式会社ジャパンギャルズにおける既存販路の拡大に加え、健康食品分野で培ったWEBプロモーション等の販売ノウハウを活かす施策が功を奏し、売上高と利益を伸ばしております。

この結果、美容・健康関連事業での売上高は3,049百万円（前年同四半期連結累計期間は2,485百万円）、営業利益は516百万円（前年同四半期連結累計期間は117百万円）となりました。

②食品関連事業

食品関連事業は、乳製品の受託加工及び製造販売事業を主たる事業とする、株式会社弘乳舎を中心に、行っております。主力となる余乳受託加工は、季節的要因により、売上高と利益が第1四半期及び第4四半期に偏重する傾向にあるものの、一年という期間で見えた場合、每期安定した売上高と利益を出しております。

当第2四半期連結累計期間においては、余乳持ち込みが減少したものの、売上総利益率が上がったこと及び販売管理費の抑制により、食品関連事業での売上高は1,043百万円（前年同四半期連結累計期間は1,478百万円）、営業利益は83百万円（前年同四半期連結累計期間は277百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて0.4%減少し、3,365百万円となりました。主な要因としては、現金及び預金が468百万円増加し、未収還付法人税等が667百万円減少したためです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて3.3%減少し、2,405百万円となりました。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1.6%減少し、5,771百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて16.9%減少し、2,650百万円となりました。主な要因としては、短期借入金の630百万円減少によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて6.5%増加し、2,401百万円となりました。これは主として、長期借入金の156百万円増加によるものであります。

この結果、総負債は、前連結会計年度末に比べて7.2%減少し、5,051百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて70.1%増加し、719百万円となりました。これは主として、利益剰余金の294百万円増加によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

現時点での足元の業績等を踏まえ、通期（平成21年4月～平成22年3月）の業績予想数値を修正いたしております。

また、当期末の配当予想は、平成21年8月17日公表の「剰余金の配当（上場3周年記念配当）に関するお知らせ」に記載していますとおり、平成22年3月期の個別当期純利益の予想値（149百万円）に当社単体年間配当性向（20～25％）を乗じた金額を基に算定しております。

尚、当期の期末配当金額につきましては、今後開催される当社取締役会で検討、承認を得た上で、平成22年6月開催予定の第7回定時株主総会に付議する予定であります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(一般債権の貸倒見積高の算定方法)

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(固定資産の減価償却費の算定方法)

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法)

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化が生じ、又は、一時差異等の発生状況について著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,305,842	837,619
受取手形及び売掛金	755,993	607,607
商品及び製品	770,456	716,061
仕掛品	7,234	13,818
原材料及び貯蔵品	243,114	335,446
未収還付法人税等	—	667,487
その他	287,726	205,762
貸倒引当金	△4,778	△5,345
流動資産合計	3,365,589	3,378,456
固定資産		
有形固定資産		
土地	907,724	907,724
その他(純額)	345,909	363,387
有形固定資産合計	1,253,633	1,271,111
無形固定資産		
のれん	911,282	973,512
その他	10,067	12,028
無形固定資産合計	921,349	985,541
投資その他の資産		
投資有価証券	24,185	24,356
投資不動産	157,123	157,123
その他	59,669	59,124
貸倒引当金	△10,171	△10,543
投資その他の資産合計	230,807	230,060
固定資産合計	2,405,789	2,486,713
資産合計	5,771,379	5,865,170
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	261,104	244,797
短期借入金	704,964	1,335,958
1年内返済予定の長期借入金	842,044	1,106,094
未払法人税等	171,071	65,416
賞与引当金	71,469	63,462
返品調整引当金	43,771	12,156
その他	556,281	360,441
流動負債合計	2,650,706	3,188,326
固定負債		
長期借入金	2,069,875	1,912,889

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
役員退職慰労引当金	14,066	23,311
退職給付引当金	274,267	282,894
その他	42,924	34,630
固定負債合計	2,401,133	2,253,725
負債合計	5,051,840	5,442,052
純資産の部		
株主資本		
資本金	112,232	111,272
資本剰余金	118,326	118,326
利益剰余金	486,181	191,940
株主資本合計	716,740	421,539
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,881	2,052
繰延ヘッジ損益	917	△473
評価・換算差額等合計	2,798	1,578
純資産合計	719,539	423,118
負債純資産合計	5,771,379	5,865,170

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	3,963,932	4,093,133
売上原価	2,085,539	1,901,938
売上総利益	1,878,393	2,191,195
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	661,452	812,485
その他	977,108	887,286
販売費及び一般管理費合計	1,638,561	1,699,771
営業利益	239,832	491,423
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,048	243
受取賃貸料	4,566	1,247
その他	14,416	9,020
営業外収益合計	21,031	10,511
営業外費用		
支払利息	38,786	32,524
貸与資産減価償却費	3,551	173
その他	891	1,085
営業外費用合計	43,228	33,783
経常利益	217,635	468,151
特別利益		
固定資産売却益	20,218	—
子会社株式売却益	38,795	—
その他	2,012	573
特別利益合計	61,027	573
特別損失		
投資有価証券売却損	2,124	—
投資有価証券評価損	18,196	—
固定資産除却損	9,019	218
子会社株式売却損	24,042	—
減損損失	—	1,449
その他	4,443	—
特別損失合計	57,825	1,667
税金等調整前四半期純利益	220,837	467,057
法人税、住民税及び事業税	160,795	169,903
法人税等調整額	△62,298	△12,406
法人税等合計	98,496	157,496
四半期純利益	122,341	309,560

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	220,837	467,057
減価償却費	57,851	41,434
のれん償却額	63,477	62,230
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,377	△939
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	3,300	△9,245
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	10,927	△8,627
減損損失	—	1,449
固定資産売却損益 (△は益)	△20,218	—
固定資産除却損	9,019	218
子会社株式売却損益 (△は益)	△14,753	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	835	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	18,196	—
受取利息及び受取配当金	△2,048	△243
支払利息	38,786	32,524
売上債権の増減額 (△は増加)	52,003	△148,386
たな卸資産の増減額 (△は増加)	199,479	44,521
仕入債務の増減額 (△は減少)	△141,655	7,107
その他	32,666	197,755
小計	527,328	686,857
利息及び配当金の受取額	2,048	243
利息の支払額	△49,914	△29,531
法人税等の支払額	△120,362	△82,178
法人税等の還付額	—	670,189
営業活動によるキャッシュ・フロー	359,100	1,245,579
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△77,720	△17,060
定期預金の払戻による収入	57,266	—
有形固定資産の取得による支出	△25,298	△14,111
有形固定資産の売却による収入	10,847	—
投資不動産の売却による収入	36,928	—
投資有価証券の売却による収入	50,315	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△27,154	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	159,652	—
貸付けによる支出	△90,193	—
貸付金の回収による収入	93,737	387
有価証券の取得による支出	—	△26,533
その他	3,247	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	191,628	△57,318

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,154,649	△630,994
長期借入れによる収入	470,000	590,000
長期借入金の返済による支出	△589,967	△697,064
株式の発行による収入	—	960
社債の償還による支出	△50,000	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,324,617	△737,098
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△773,888	451,162
現金及び現金同等物の期首残高	1,620,111	788,311
現金及び現金同等物の四半期末残高	846,223	1,239,474

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

IT・広告関連事業を行っていた株式会社アクディアの全株式を譲渡したことにより、全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額に占める健康関連事業の割合が、いずれも90%を超えるため、種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	美容・健康関連事業 (千円)	食品関連事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社(千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	3,049,381	1,043,751	4,093,133	—	4,093,133
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	4,450	4,450	(4,450)	—
計	3,049,381	1,048,201	4,097,583	(4,450)	4,093,133
営業利益	516,442	83,548	599,990	(108,567)	491,423

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主な事業

(1)美容・健康関連事業・・・美容関連用品、化粧品、健康食品等の販売

(2)食品関連事業・・・乳製品等、菓子用原材料等の販売

3 事業区分の変更

従来、事業区分は「健康関連事業」、「IT・広告関連事業」の2区分によっておりましたが、当連結会計年度より、「美容・健康関連事業」、「食品関連事業」の2区分に変更いたしました。

セグメント区分の変更の理由については、前連結会計年度に連結範囲の変更を伴う関係会社の異動があり見直したことにあります。これは、当社の事業展開に基づく事業区分の見直しであり、事業領域の拡大によってセグメント情報の有用性を高めることを目的としております。

(参考)

前第2四半期連結累計期間を変更後の事業区分に基づき作成すると次の通りであります。

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	美容・健康関連事業 (千円)	食品関連事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社(千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	2,485,870	1,478,062	3,963,932	—	3,963,932
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,485,870	1,478,062	3,963,932	—	3,963,932
営業利益	117,822	277,611	395,434	(155,602)	239,832

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主な事業

(1)美容・健康関連事業・・・美容関連用品、化粧品、健康食品等の販売

(2)食品関連事業・・・乳製品等、菓子用原材料等の販売

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

前第2四半期連結累計期間において、日本以外の国又は地域に所在する連結子会社はありませんので、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

当第2四半期連結累計期間において、日本以外の国又は地域に所在する連結子会社はありませんので、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

前第2四半期連結累計期間において、海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

当第2四半期連結累計期間において、海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。